

## ユビキタスからホモ・ユビキタスへ (3)

コンピュータネットワークの発展は驚くべきものがあります。1200bpsや2400bpsで接続していたパソコン通信の時代はいつのことだったのか。その頃はメールをやり取りするといっても同じパソコン通信の間に限られ、掲示板に書き込んだりしながら情報交換をしていただけでした。それでもその頃のマニアックな人たちは情報交換を行い、パソコンメーカーもいろいろな情報提供の場に使っていました。それがインターネットとなり、全世界につながったかと思うと、情報発信までできるようになりました。電子メールも一般化してしまい、パソコンばかりでなく携帯電話からもメールが使え、ちょっと前ポケットベルを使った「ベル友」だったものが「メル友」として本当に身近なものとなっています。携帯電話ではいろいろなサービスがあり、中には「出会い系サイト」といった社会問題にまでなっています。しかし、実際に使っている人たちはそれが世界につながったネットワークに接続されていると思っていないでしょうし、また、そんな意識も必要ないものになっています。一方接続する回線については、始めはアナログ回線の1200bps、2400bpsで十分だったものが、インターネットになったとたんに画像データ、音声データなどの取り扱いのためにISDNの64kbpsとなり、アナログ回線も56kbpsへと高速化され、一方常時接続が一般化するに従ってADSLやCATVの1.5Mbpsが一般化し始めています。その究極が「いつでも、どこでも、つながりっぱなし」の「ユビキタス・ネット」です。これまで生活者にとって「特別で貴重なもの」であったネットワークの常識が、ADSLやCATVなどのブロードバンドの普及によって崩れ始めています。これまでのLAN環境でのみ実現されていた100Mbpsという超高速の常時接続環境が、家庭で利用できるのも夢ではなくなっています。その環境が優先ばかりでなくモバイルの環境にも広がろうとしています。外でも数Mbpsでのデータ通信が可能となろうとしているのです。そうすると、携帯型情報機器や携帯電話(俗にケータイ)から、果てはボールペンやメガネ、街角のいたるところに設置されたセンサなどの日常生活で触れ、そして利用する多くの機器や部品までもがネットワークに接続されるようになります。そうなることによって生活スタイルや社会の仕組みは大きく変化していくことになります。このような「ユビキタス・ネット」の登場はどのような変化をもたらすのでしょうか。

まず、受け取る情報量の制限が取り払われることによって、音楽や映像、ゲームなどのコンテンツ配信はもちろんのこと、電子商取引などで届けられるコンテンツの質も高められます。いわゆる「リッチ・コンテンツ」がいつでもどこでも手に入れることができるようになります。また、受け取る制限がなくなることは発信する情報にも制限がなくなるということになり、通信機能を組み込んだものがあらゆる情報を発信することができるということになり、新しい常識を生み出すということにもなります。情報は生活者が意識して発信するものばかりでなく、使ったもの、触ったものなどに機能があれば、意識しないレベルで日常生活のすべてがネット上に発信されることになり、ネット上に分散して接続された情報機器がお互いに協調動作することによってそれら进行处理し、生活者にフィードバックすることができます。これまでは時間と労力をかけてもデータを集めるのに時間のかかったことが生活者の知らないところでリアルタイムに集めることができるようになります。また、このようにしてネットワーク上にコミュニティーを形成し、知らない人同士が共通の話題の元に情報交換やコミュニケーションを取り合うようにもなります。(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 8月13日号

特集 主役不在の電子産業 笑うのはだれ

→底なしの不況に落ち込んでいるでいる電子産業。昨年までけん引役であった携帯電話とパソコンが市場規模縮小になっている。この時代に沈まぬ企業とは。

○日経パソコン 8月20日号

特集 e都市ランキング2001

→高速通信網が一般化した2001年、いろいろな恩恵が受けれる大都市となかなか進まない地方都市。全市制施行都市(527都市)レベルで調査して地域別の差を明らかにする。順位は、金沢28位、富山60位、福井65位など。個別にはブロードバンド導入、行政、教育など。全都市の状況と順位も掲載。

特集 メール転送の達人

→会社のメールを自宅、携帯へ転送してみるにはどうすればよいか。個人当てるメールを会社へ転送するならプロバイダのサービスを利用、会社のメールはメールソフト(ただし、パソコンは常時電源ON)の機能を利用して転送する。

○日経オープンシステム 8月号

特集 外部の力の生かし方

→提案の内容を実現するだけの力が無い、経験が豊富ということだったが話が違ふ、予定納期に間に合わないなどのSIベンダーとのトラブルは多い。どのような環境作りをすればよいか、失敗事例、成功事例からその策を探る。

解説 Webサービスの理想と現実

→各メーカーの次世代戦略の目玉としてWebサービスへの対応が打ち出されている。Webサービスはネット上に公開されたサービスを検索して利用するためのサービスで、最終的にはシステム間での業務効率化をはかる。しかし、また、トランザクションやセキュリティなど企業システムで利用するには課題がある。

○日経ネットビジネス 8月10日/25日号

特集 勝てる!ケータイEC

→iモードで大もうけできた時代は終わった。代わりに携帯で物が売れ始めている。携帯電話に登録された公式サイトではなく買ってサイトが独自の工夫で勝ち残ってきている。

○DOS/V magazine 9月1日号

特集 完全マスタ 最新パーツ購入術

→自分で使っているパソコンのグレードアップを行う場合に必要なパーツの購入。各パーツをよく理解して購入するために必要な基礎知識とチューンナップ方法の紹介。

特集 ベンチマークマニアックス

→パソコンの性能を調べるベンチマークテスト。自分のパソコンの性能を

的確に把握するためのベンチマークテストの利用方法を紹介。PCを使っているのトラブルはあいも変わらずなくなりますが、パソコンの性能が変化している中でその内容も対処方法も変わってきている。現時点での対処方法について。

特集 買い物ウォーカー拡大版

→秋葉原を回って面白いものを集めた「買い物ウォーカー」の拡大版。マザーボードからバッグ、糖度計、キックボードまで。